



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月22日

上場会社名 日本プラスチック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 青木 智彦 TEL 0544-58-9080  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	103,359	19.5	△966	—	△749	—	△3,602	—
2022年3月期	86,504	4.1	△722	—	△289	—	△8,018	—

(注) 包括利益 2023年3月期 △969百万円 (—%) 2022年3月期 △5,047百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△188.35	—	△13.4	△0.9	△0.9
2022年3月期	△419.41	—	△26.6	△0.4	△0.8

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 0百万円 2022年3月期 0百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	81,450	26,219	32.2	1,370.54
2022年3月期	79,536	27,377	34.4	1,432.03

(参考) 自己資本 2023年3月期 26,219百万円 2022年3月期 27,377百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	5,466	△5,099	△1,664	11,646
2022年3月期	1,306	△6,869	6,378	12,310

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	15.00	—	5.00	20.00	388	—	1.3
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00	194	—	0.7
2024年3月期 (予想)	—	5.00	—	7.50	12.50		59.8	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,200	17.3	1,500	—	800	—	400	—	20.90

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	19,410,000株	2022年3月期	19,410,000株
2023年3月期	279,520株	2022年3月期	291,830株
2023年3月期	19,127,115株	2022年3月期	19,119,218株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	42,636	28.8	△211	—	1,402	164.4	△2,041	—
2022年3月期	33,112	△2.8	△1,930	—	530	△54.6	△6,195	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	△106.61	—
2022年3月期	△323.70	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	42,137	11,646	11,646	13,612	27.6	608.00
2022年3月期	40,342	13,612	13,612	—	33.7	711.22

(参考) 自己資本 2023年3月期 11,646百万円 2022年3月期 13,612百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手された情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後の様々な要因により上記の業績予想値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. 個別財務諸表 .....	15
(1) 貸借対照表 .....	15
(2) 損益計算書 .....	17
(3) 株主資本等変動計算書 .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内外の経済は、世界的な半導体供給不足、中国の新型コロナ影響、原材料価格等の高騰、ロシア・ウクライナ情勢、急激な為替の変動等を受け、大変厳しい状況となりました。

このような状況の中、当連結会計年度における売上高は、全セグメントで続く半導体供給不足や中国の新型コロナ影響等による減収を受け、依然として厳しい状況にあるものの、為替影響、新車効果、原材料価格等の高騰の販売価格転嫁が一部進んだこと等により前期比19.5%増の103,359百万円となりました。損益面では、日本・北米での新車効果等による増収影響、合理化による収益改善、販売価格転嫁等の増収要因はあるものの、中国での減収影響、原材料価格や輸送費の高騰、半導体供給不足による直前での大幅減産に伴う生産ロスや北米の賃金上昇を受けた労務費の増加等により営業損失は966百万円（前期は722百万円の営業損失）となりました。経常損失は749百万円（前期は289百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は日本での減損損失及び製品保証引当金繰入額の計上等により3,602百万円（前期は8,018百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### ① 日本

国内の売上高は、半導体供給不足の影響は続いているものの、新車効果、販売価格転嫁が一部進んだこと等により37,482百万円と前期に比べ9,497百万円（33.9%）の増収となりました。セグメント損失は、280百万円（前期は1,834百万円のセグメント損失）となりました。原材料価格や輸送費の高騰等により赤字となるものの、増収影響、前年度に減損損失を計上したことによる減価償却費の減少、合理化による収益改善等により前期に比べ赤字幅縮小となりました。なお、第4四半期(2023年1月～3月)は、新車効果及び得意先の生産回復に伴う増収、販売価格転嫁が進み、黒字に転じております。

なお、市場環境悪化に伴い、収益性が低下したことから、固定資産の一部回収が困難と判断したため、減損損失545百万円、製品保証引当金繰入額1,570百万円等を特別損失に計上しております。

#### ② 北米

北米の売上高は、半導体供給不足の影響は続いているものの、為替影響、新車効果、販売価格転嫁が一部進んだこと等により40,658百万円と前期に比べ11,529百万円（39.6%）の増収となりました。セグメント損失は、1,215百万円（前期は1,436百万円のセグメント損失）となりました。原材料価格や輸送費の高騰、半導体供給不足による直前での大幅減産に伴う生産ロスやアメリカでの賃金上昇を受けた労務費の増加等はあるものの、増収影響、合理化による収益改善等により前期に比べ赤字幅縮小となりました。なお、第4四半期(2022年10月～12月)は、新車効果及び得意先の生産回復に伴う増収、販売価格転嫁が進み、黒字に転じております。

#### ③ 中国

中国の売上高は、為替影響、販売価格転嫁が一部進んだこと等による増収はあるものの、半導体供給不足、上海ロックダウン影響に加え、第4四半期(2022年10月～12月)の中国での新型コロナ感染者急増による稼働停止を受けた大幅減産等により21,977百万円と前期に比べ4,298百万円（△16.4%）の減収となりました。セグメント利益は、合理化による収益改善、販売価格転嫁が一部進んだものの、減収影響、原材料価格の高騰等により898百万円と前期に比べ1,424百万円（△61.3%）の減益となりました。

#### ④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、為替影響等により3,240百万円と前期に比べ126百万円（4.1%）の増収となりました。セグメント損失は、543百万円（前期は327百万円のセグメント利益）となりました。合理化による収益改善をはかるものの、原材料価格の高騰、車種構成差、死蔵品の処分に伴う材料費の増加等により赤字に転じました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、81,450百万円（前連結会計年度末は79,536百万円）となり、1,913百万円増加いたしました。

流動資産の残高は、46,038百万円（前連結会計年度末は45,360百万円）となり、677百万円増加いたしました。これは売掛金の増加881百万円、原材料及び貯蔵品の増加494百万円及び現金及び預金の減少663百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は、35,411百万円（前連結会計年度末は34,176百万円）となり、1,235百万円増加いたしました。これは有形固定資産の増加827百万円が主な要因であります。

流動負債の残高は、42,643百万円（前連結会計年度末は40,103百万円）となり、2,540百万円増加いたしました。これは短期借入金の増加1,529百万円、製品保証引当金の増加1,478百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は、12,588百万円（前連結会計年度末は12,056百万円）となり、532百万円増加いたしました。これは繰延税金負債の増加459百万円が主な要因であります。

純資産の残高は、26,219百万円（前連結会計年度末は27,377百万円）となり、1,158百万円減少いたしました。これは為替換算調整勘定の増加2,510百万円、利益剰余金の減少3,796百万円が主な要因であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、663百万円（△5.4%）減少し、当連結会計年度末は11,646百万円となりました。

営業活動の結果獲得した資金は5,466百万円（前年同期は1,306百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費5,718百万円をはじめ、製品保証引当金の増加1,470百万円及び棚卸資産の減少1,230百万円等の資金増加要因が、税金等調整前当期純損失2,925百万円等の資金減少要因を上回ったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は5,099百万円（前年同期は6,869百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4,992百万円等によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は1,664百万円（前年同期は6,378百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出3,615百万円等の資金減少要因が、長期借入れによる収入2,500百万円等の資金増加要因を上回ったことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、半導体供給不足、原材料価格等の高騰の懸念は残存し、中国では、日系自動車メーカーが苦戦を強いられる等の収益悪化要因はあるものの、自動車の生産は徐々に回復するものと見込まれ、新車効果も期待できることから、翌期の業績見通しにつきましては、売上高は前期比17.3%増の121,200百万円、営業利益は1,500百万円、経常利益は800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は400百万円を見込んでおります。

なお、本見通しは4月末時点の最新情報を織り込んでおりますが、依然として当社グループを取り巻く環境の先行きは不透明な状況にあり、流動的かつ困難を伴うものと予想されるため、実際の業績等はさまざまな不確定要素により変動する可能性があります。

また、為替レートにつきましては1ドル135円を前提としております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）適用時期などにつきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,310	11,646
受取手形	1	—
電子記録債権	777	1,100
売掛金	13,551	14,433
製品	2,503	2,701
仕掛品	1,240	1,311
原材料及び貯蔵品	12,451	12,946
その他	2,527	1,902
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	45,360	46,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,500	27,555
減価償却累計額	△16,317	△18,089
建物及び構築物(純額)	9,182	9,465
機械装置及び運搬具	44,760	50,994
減価償却累計額	△35,209	△39,698
機械装置及び運搬具(純額)	9,550	11,296
工具、器具及び備品	47,372	50,126
減価償却累計額	△42,527	△45,845
工具、器具及び備品(純額)	4,845	4,281
土地	3,468	3,568
リース資産	240	192
減価償却累計額	△217	△189
リース資産(純額)	22	3
建設仮勘定	2,657	1,549
その他	1,265	1,764
減価償却累計額	△222	△330
その他(純額)	1,043	1,433
有形固定資産合計	30,770	31,598
無形固定資産		
特許権	9	—
ソフトウェア	106	256
その他	1	1
無形固定資産合計	117	257
投資その他の資産		
投資有価証券	2,072	2,361
繰延税金資産	286	149
その他	935	1,052
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,287	3,556
固定資産合計	34,176	35,411
資産合計	79,536	81,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,733	9,840
短期借入金	18,910	20,439
1年内返済予定の長期借入金	3,199	2,987
リース債務	50	120
未払法人税等	342	79
契約負債	613	71
未払費用	3,046	3,298
賞与引当金	653	805
製品保証引当金	1,474	2,952
その他	2,077	2,046
流動負債合計	40,103	42,643
固定負債		
長期借入金	7,095	6,830
リース債務	88	343
繰延税金負債	1,229	1,689
退職給付に係る負債	2,816	2,863
役員株式給付引当金	62	91
製品保証引当金	64	73
その他	698	695
固定負債合計	12,056	12,588
負債合計	52,159	55,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	20,374	16,577
自己株式	△128	△123
株主資本合計	28,665	24,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	609	872
為替換算調整勘定	△1,590	920
退職給付に係る調整累計額	△307	△448
その他の包括利益累計額合計	△1,287	1,345
純資産合計	27,377	26,219
負債純資産合計	79,536	81,450

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	86,504	103,359
売上原価	79,920	95,821
売上総利益	6,584	7,537
販売費及び一般管理費	7,307	8,504
営業損失(△)	△722	△966
営業外収益		
受取利息	121	252
受取配当金	65	79
投資不動産賃貸料	65	65
持分法による投資利益	0	0
為替差益	195	245
固定資産売却益	4	12
補助金収入	233	161
その他	83	128
営業外収益合計	769	945
営業外費用		
支払利息	239	665
機械・工具等処分損	36	5
その他	60	57
営業外費用合計	336	728
経常損失(△)	△289	△749
特別損失		
減損損失	4,165	545
投資有価証券評価損	—	59
製品保証引当金繰入額	1,420	1,570
特別損失合計	5,585	2,176
税金等調整前当期純損失(△)	△5,875	△2,925
法人税、住民税及び事業税	1,007	236
法人税等調整額	1,136	440
法人税等合計	2,143	676
当期純損失(△)	△8,018	△3,602
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△8,018	△3,602

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純損失(△)	△8,018	△3,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	262
為替換算調整勘定	3,033	2,510
退職給付に係る調整額	△47	△140
その他の包括利益合計	2,971	2,633
包括利益	△5,047	△969
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△5,047	△969

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,206	5,213	28,878	△127	37,170
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△485	—	△485
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	△8,018	—	△8,018
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	△8,504	△1	△8,505
当期末残高	3,206	5,213	20,374	△128	28,665

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	624	△4,623	△260	△4,259	32,911
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△485
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	—	—	△8,018
自己株式の取得	—	—	—	—	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14	3,033	△47	2,971	2,971
当期変動額合計	△14	3,033	△47	2,971	△5,533
当期末残高	609	△1,590	△307	△1,287	27,377

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,206	5,213	20,374	△128	28,665
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△194	—	△194
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	△3,602	—	△3,602
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
自己株式の処分	—	—	—	6	6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	△3,796	5	△3,791
当期末残高	3,206	5,213	16,577	△123	24,873

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	609	△1,590	△307	△1,287	27,377
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△194
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	—	—	—	—	△3,602
自己株式の取得	—	—	—	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	—	6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	262	2,510	△140	2,633	2,633
当期変動額合計	262	2,510	△140	2,633	△1,158
当期末残高	872	920	△448	1,345	26,219

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△5,875	△2,925
減価償却費	5,562	5,718
減損損失	4,165	545
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△60	151
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△50	△14
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	36	29
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,358	1,470
受取利息及び受取配当金	△187	△332
支払利息	239	665
持分法による投資損益(△は益)	△0	△0
有形固定資産処分損益(△は益)	31	△6
投資有価証券評価損益(△は益)	—	59
売上債権の増減額(△は増加)	3,712	20
棚卸資産の増減額(△は増加)	△4,032	1,230
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,097	△683
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25	221
その他	△308	△162
小計	2,430	5,988
利息及び配当金の受取額	187	334
利息の支払額	△237	△626
法人税等の支払額	△1,084	△537
法人税等の還付額	11	306
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,306	5,466
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,713	△4,992
有形固定資産の売却による収入	14	249
無形固定資産の取得による支出	△74	△287
投資有価証券の取得による支出	△18	△22
貸付けによる支出	△4	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△74	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,869	△5,099

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,540	△241
長期借入れによる収入	4,355	2,500
長期借入金の返済による支出	△2,734	△3,615
配当金の支払額	△485	△194
リース債務の返済による支出	△285	△114
その他	△13	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,378	△1,664
現金及び現金同等物に係る換算差額	896	633
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,712	△663
現金及び現金同等物の期首残高	10,597	12,310
現金及び現金同等物の期末残高	12,310	11,646

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に自動車部品等を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては北米（米国、メキシコ）、中国等の現地法人がそれぞれ担当し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」、「中国」、「東南アジア」の4つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業のセグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	27,985	29,128	26,276	3,114	86,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,141	37	2,807	5,121	13,108
計	33,126	29,166	29,083	8,235	99,613
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△1,834	△1,436	2,322	327	△620
セグメント資産	22,695	25,700	24,647	8,678	81,722
その他の項目					
減価償却費	2,324	1,940	788	508	5,562
持分法適用会社への投資額	20	—	—	—	20
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,799	2,098	498	831	7,227

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	37,482	40,658	21,977	3,240	103,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,166	17	1,910	6,748	13,842
計	42,648	40,675	23,887	9,989	117,202
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△280	△1,215	898	△543	△1,141
セグメント資産	25,224	30,025	22,958	9,577	87,786
その他の項目					
減価償却費	2,093	2,186	841	597	5,718
持分法適用会社への投資額	19	—	—	—	19
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,712	1,155	444	1,367	4,680

## 4. 報告セグメントの合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	99,613	117,202
セグメント間取引消去	△13,108	△13,842
連結財務諸表の売上高	86,504	103,359

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△620	△1,141
セグメント間取引消去	△106	161
その他の調整額	4	13
連結財務諸表の営業損失(△)	△722	△966

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	81,722	87,786
全社資産(注)	4,688	4,948
その他の調整額	△6,874	△11,284
連結財務諸表の資産合計	79,536	81,450

(注) 全社資産は、主に親会社の余資運用資金(現金預金)、長期投資資金(投資有価証券及び出資金並びに投資不動産)であります。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産	1,432円03銭	1,370円54銭
1株当たり当期純損失(△)	△419円41銭	△188円35銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式は、1株当たり純資産の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めており、また、1株当たり当期純損失の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。  
なお、当該期末発行済株式総数は、前連結会計年度においては261千株、当連結会計年度においては247千株、期中平均株式数は、前連結会計年度においては261千株、当連結会計年度においては251千株であります。
3. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△8,018	△3,602
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(百万円)	△8,018	△3,602
期中平均株式数(株)	19,119,218	19,127,115

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. 個別財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,426	2,396
受取手形	1	—
電子記録債権	777	1,100
売掛金	5,835	6,802
製品	302	321
仕掛品	693	611
原材料及び貯蔵品	4,486	4,795
前払金	367	795
前払費用	21	23
未収入金	2,453	1,140
関係会社短期貸付金	1,067	—
その他	10	26
貸倒引当金	△86	△3
流動資産合計	18,357	18,010
固定資産		
有形固定資産		
建物	519	521
構築物	4	8
機械及び装置	606	517
車両運搬具	4	1
工具、器具及び備品	2,322	1,624
土地	2,755	2,755
リース資産	18	0
建設仮勘定	886	571
有形固定資産合計	7,116	6,001
無形固定資産		
特許権	9	—
ソフトウェア	27	3
無形固定資産合計	37	3
投資その他の資産		
投資有価証券	2,052	2,342
関係会社株式	9,537	8,724
出資金	3	3
関係会社出資金	2,698	2,698
関係会社長期貸付金	—	4,050
差入保証金	30	30
繰延税金資産	252	29
その他	263	250
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	14,830	18,122
固定資産合計	21,984	24,127
資産合計	40,342	42,137

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	109	96
電子記録債務	1,028	1,310
買掛金	3,575	4,537
短期借入金	7,250	6,098
1年内返済予定の長期借入金	1,581	1,594
リース債務	49	51
未払金	822	693
未払費用	1,032	968
未払法人税等	38	68
前受金	101	9
預り金	35	38
賞与引当金	626	772
製品保証引当金	1,420	2,900
設備関係支払手形	478	254
その他	5	5
流動負債合計	18,155	19,401
固定負債		
長期借入金	4,504	5,168
関係会社長期借入金	1,000	3,000
リース債務	87	84
退職給付引当金	2,256	2,206
役員株式給付引当金	62	91
債務保証損失引当金	110	—
その他	550	539
固定負債合計	8,573	11,090
負債合計	26,729	30,491
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金		
資本準備金	802	802
その他資本剰余金	4,411	4,411
資本剰余金合計	5,213	5,213
利益剰余金		
その他利益剰余金		
資産買換差益積立金	69	69
固定資産圧縮積立金	107	107
繰越利益剰余金	4,521	2,286
利益剰余金合計	4,698	2,462
自己株式	△115	△109
株主資本合計	13,002	10,773
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	609	872
評価・換算差額等合計	609	872
純資産合計	13,612	11,646
負債純資産合計	40,342	42,137

## (2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	33,112	42,636
売上原価	31,430	39,360
売上総利益	1,681	3,276
販売費及び一般管理費	3,612	3,487
営業損失(△)	△1,930	△211
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2,119	1,061
債務保証損失引当金戻入額	—	110
為替差益	232	273
補助金収入	196	116
その他	123	142
営業外収益合計	2,671	1,704
営業外費用		
支払利息	48	59
債務保証損失引当金繰入額	110	—
固定資産除却損	23	4
租税公課	12	12
その他	15	14
営業外費用合計	210	90
経常利益	530	1,402
特別損失		
減損損失	4,165	545
投資有価証券評価損	—	59
関係会社株式評価損	—	813
製品保証引当金繰入額	1,420	1,570
特別損失合計	5,585	2,989
税引前当期純損失(△)	△5,055	△1,586
法人税、住民税及び事業税	425	295
法人税等調整額	714	159
法人税等合計	1,140	454
当期純損失(△)	△6,195	△2,041

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					資産買換差益積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	3,206	802	4,411	5,213	69	107	11,202	11,378
当期変動額								
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	△485	△485
当期純損失(△)	-	-	-	-	-	-	△6,195	△6,195
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	△6,680	△6,680
当期末残高	3,206	802	4,411	5,213	69	107	4,521	4,698

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	△115	19,683	624	20,308
当期変動額				
剰余金の配当	-	△485	-	△485
当期純損失(△)	-	△6,195	-	△6,195
自己株式の取得	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	-	-	△14	△14
当期変動額合計	-	△6,680	△14	△6,695
当期末残高	△115	13,002	609	13,612

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金			利益剰余金合計
					資産買換差益積立金	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	3,206	802	4,411	5,213	69	107	4,521	4,698
当期変動額								
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	△194	△194
当期純損失(△)	—	—	—	—	—	—	△2,041	△2,041
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△2,235	△2,235
当期末残高	3,206	802	4,411	5,213	69	107	2,286	2,462

	株主資本		評価・換算差額等	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
当期首残高	△115	13,002	609	13,612
当期変動額				
剰余金の配当	—	△194	—	△194
当期純損失(△)	—	△2,041	—	△2,041
自己株式の取得	△0	△0	—	△0
自己株式の処分	6	6	—	6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	262	262
当期変動額合計	6	△2,229	262	△1,966
当期末残高	△109	10,773	872	11,646